

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

「YAのページ」では、司書が週替わりでいろんなこと
をつぶやいています♪あそびにきてね☆

野洲図書館のホーム
ページはこちら→→



今号の内容は…

★表紙の1冊 ★司書のオススメ ★新しく入った本 デス

表紙の1冊



心のことば。伝わっても、伝わらなくとも。

『そらのことばが降ってくる —保健室の俳句会—』

高柳克弘/作 ポプラ社 K913/9カ



容姿へのからかいがエスカレートし、教室へ入れなくなったソラ。ある日、保健室に登校したソラは、ハセオという名の同級生に出会う。養護教諭の北村先生と俳句に興じていたハセオは、いっしょに俳句を作らないかとソラに持ちかけてくる。乗り気でないソラだったが、マイペースでパワフルなハセオと、とある一件を乗り越えて、保健室で「ヒマワリ句会」を発足することに。早速入会希望に来たのは、弓道部主将をつとめるユミ。ユミにもどうやら事情があるようで—。

◆ソラくらいの年だったころから、思っていることがあります。なぜ身体の暴力は取り締まられるのに、「言葉」の暴力は裁かれないのだろう、と。ソラやユミにトラウマを植え付けたシーンは非常にリアルで、自分が殴られたかのように息が詰まりました。しかし言葉によって激しく傷つけられた彼らだからこそ、俳句という言葉に魔法をかける芸術で、「マイナスをプラスに」変えていく展開がとりわけ感動します。特に、二人を含む生徒たちを見守ってきた北村先生の154ページの言葉には、大人になった今もハッと息を飲む真理が込められていました。タイトルも実は「七五」。五七五の限られた文字数の中にどれだけの想いを込められるかという、俳句の奥深さを丸ごと体感できる作品です。(ざ)



司書のオススメ



YA担当司書からのオススメです♪

書かれてるのは、たったの一行。『深田さんのことが好きです』



『きみとホームで待ち合わせ』

神戸遙真／著 講談社 913.6/コウ

早阪千里は、朝まだ誰も来ていない一年四組の教室で、友人あてのラブレターを拾った。文化祭以降、周囲にはラブの波が到来している気がするのに、自分には何もないことを切なく思う千里だったが、ひょんなことから二組の白井くんとやりとりをするようになり…。(「西千葉クエスト」)
深田麻那は、中学から好きだった男の子に告白して、見事玉砕。それから、好きで書いていた小説の続きが書けなくなってしまった。「トキメキが足りない…」と思っていたところ、バレンタインに同じクラスの瀬戸くんから突然チョコをもらって…。(「続きのない小説」)

千葉県で作草部高校と、その最寄りの西千葉駅を舞台に、高校生6人の恋を描いた連作短編集。

◆6人それぞれの恋の矢印が別の人に向いていて、なかなか両想いになれなかったり…読んでいてもどかしさがありました。でも、恋ってそういうものですね。一人ひとりの目線で物語が進行するので、どの子の恋も応援したくなりますが、私のお気に入りには空気読まない系男子の中村くんです(笑)。読んでいなくても大丈夫ですが、著者既刊の通称「恋ポテ」シリーズと同じキャラクターが出てくるので、よければそちらも読んでみてください！(う)

*『恋とポテと夏休み』、『恋とポテと文化祭』、『恋とポテとクリスマス』(講談社)

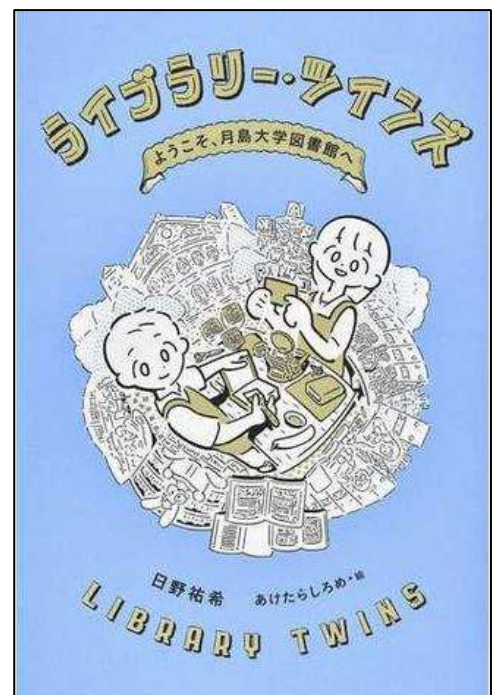
夏休みに図書館でボランティア！？

『ライブラリー・ツインズ -ようこそ、月島大学図書館へ-』

日野祐希/著 あけたらしろめ/絵 アリス館 K913/ヒ

成績が足りず、内部進学が危なくなった菜織に出された進学の条件。それは夏休みのボランティア活動だった。成績優秀な双子の弟・健史とともに、二人は系列校である月島大学で大学図書館の企画展に協力することになる。内申点を上げようと、持ち前の明るさで張り切る菜織だが、なかなか思い通りにいかなくて…。

◆手装本に活版印刷！図書館とはいえど、公共図書館と大学図書館では、業務内容も違うので、菜織たちが大学図書館の中を探検したり、体験したりするのを、いっしょになって楽しめました。ページごとにちよこちゃん、あけたらしろめさん(なかなか忘れられない名前をしてらっしゃる)のイラストがまた可愛い。絵で本のつくりやパーツの名前が学べるだけでなく、菜織たちを取り巻く優しい世界を演出しています。優秀な弟を前にあせる菜織に、優しく声をかける美鈴さんや、中学生二人の努力を温かく支える図書館司書の山口さん。こういう大人に私もなりたくなあ…！(ざ)



神様がまちがえた



『ミモザの告白』

八目迷／著 小学館(ガガガ文庫) B913.6/ハフ

冴えない高校生・紙木咲馬には、完璧な幼馴染がいた。梶ノ木汐-美少年的ルックスを誇る彼は、スポーツ万能で成績優秀。人望に恵まれ、特に女子からの人気が高い。咲馬と汐はかつて親友同士だったが…。

◆セーラー服を着て登校した汐を、戸惑いながらも受け入れようとする夏希と咲馬。これまで劣等感をこじらせて汐を避けていた咲馬ですが、汐を守ろうと奔走する姿に胸が熱くなります。汐を巡ってぎくしゃくするクラスの空気をなごませる夏希の天真爛漫な愛されキャラぶりもかわいい。一方で完璧な人気者の汐が自然と守ってあげたい存在に変化していきます。

汐の告白によって変化していく人間関係に胸が締め付けられながらも、ときにはほっこりしたり。登場人物のリサイクルマークのような相関図がはがゆいストーリーでした。(る)

クジラの骨を求めて、地球の北へ、南へ。

『クジラの骨と僕らの未来』

中村玄／著 理論社 489.6

小さな頃から生き物が大好きで、様々な動物を飼っていた著者は、中学2年生の時、骨格標本に興味を持ち、死んでしまったペットのハムスターの墓あばきを思いつきました…。クジラ博士となった研究者の骨から始まったストーリー。

◆クジラの調査研究の実態や、著者がクジラの研究者になるまでの物語がとにかく面白い。ハムスターの標本以降も、魚市場で魚の骨をあつめて標本を作ったり、調査捕鯨に参加したり、骨に魅せられ「動物の体ってなんて精巧にできていて奥深いんだろう」と生き物の中身に興味を持った著者の奮闘や冒険がシンプルにつづられていて、どんどん引き込まれていきます。

そのときどき感じた素朴な疑問を放っておかず興味を育てることで大きなテーマへつながっていくのだなあとしみじみ…。学生時代にこの本と出会ったかったよ～と少し悔しくなっていました。(る)



動き出してしまった、思い。

『忘れさせてよ、後輩くん。』

あまさきみりと／著 KADOKAWA(角川スニーカー文庫) B913.6/7マ

受験勉強のあいまいに木更津の海へ出かけた夏梅は、イルカの髪飾りを付けた少女・海果に話しかけられる。天真爛漫な海果に振り回された帰り、バスケットコートに立ち寄った夏梅は、思いがけず大学に進学した先輩・春瑠と再会する。春瑠は夏梅が小学生のことからずっと想いを寄せていた相手。しかし、春瑠は今年の夏、片思いの相手を事故で亡くしていた。それは、夏梅の兄・晴太郎で—。

◆とびきりの切ない青春劇『キミの忘れかたを教えて』で話題をさらった、あまさきみりとさんによる、これまた切ない純愛ファンタジー。夏梅の春瑠への想いもわかる。一方で春瑠の晴太郎への想いもものすごくわかる。そして夏梅の後輩・冬莉の想いもやっぱり……。登場人物たちの「片思い」が全部尊くて共感できるので困るのです…!! 謎に満ちた「幸運のイルカ」の都市伝説が、ほほえましい日常の中に差し込まれることで、一転幻想的な雰囲気をもとい、ラストまでその世界観に引き込まれます。(ざ)



NEW ARRIVALS

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル	著者	出版社
なぜ、穴を見つけるとのぞきたくなるの?	石川 幹人/著	朝日新聞出版
しれっと逃げ出すための本。	ヨシダ ナギ/著	PHP 研究所
時代をきりひらいた日本の女たち	小杉 みのり/文	岩崎書店
従順さのどこがいけないのか	将基面 貴巳/著	筑摩書房
妖怪がやってくる	佐々木 高弘/著	岩波書店
100年無敵の勉強法	鎌田 浩毅/著	筑摩書房
うちのネコ、ボクの目玉を食べちゃうの?	ケイトリン・ドーティ/著	化学同人
世界一やさしい依存症入門	松本 俊彦/著	河出書房新社
きみの体は何者か	伊藤 亜紗/著	筑摩書房
食べものから学ぶ世界史	平賀 緑/著	岩波書店
異世界転生者のための創作 BOOK	倉戸 みと/著	日本文芸社
吹奏楽部バンザイ!!	オザワ部長/著	ポプラ社
5分後に意外な結末Q	桃戸 ハル/著	学研プラス
つまり、雑念の沙鳥さん。	関根 パン/著	KADOKAWA
3ツ星シェフ部!	よしもと こゆき/著	学研プラス
予測不能ショートストーリーズ 文化祭編	にかいどう 青/著	講談社
ひかる、汗	川西 蘭/著	集英社
都会のトム&ソーヤ 18	はやみね かおる/著	講談社
かぐや様は告らせたい	赤坂 アカ/原作	集英社
本好きの下剋上 第5部[6]	香月 美夜/著	T0 ブックス
東京サマーセッション 2021	HoneyWorks/原案	KADOKAWA
レイの世界 2	時雨沢 恵一/著	ドワンゴ
星天の兄弟	菅野 雪虫/著	東京創元社
大正浪漫	NATSUMI/著	双葉社
死物語 上・下	西尾 維新/著	講談社
君に恋をするなんて、ありえないはずだった	篠田 かつら/著	宝島社
プロペラオペラ 5	犬村 小六/著	小学館
女子高生の放課後アングラーライフ	井上 かえる/著	KADOKAWA
七つの魔剣が支配する 8	宇野 朴人/著	KADOKAWA
オーダーは探偵に 13	近江 泉美/著	KADOKAWA
エチュード春一番 第3曲	荻原 規子/著	KADOKAWA
りゅうおうのおしごと! 15	白鳥 士郎/著	SBクリエイティブ
楽園ノイズ 3	杉井 光/著	KADOKAWA
君と漕ぐ 4	武田 綾乃/著	新潮社
Re:ゼロから始める異世界生活 EX5	長月 達平/著	KADOKAWA
100万回生きたきみ	七月 隆文/著	KADOKAWA
時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん 2	燦々SUN/著	KADOKAWA

編集後記：◆ネットで5000円の靴が900円になっていたの、興味本位でポチっと購入。届きました。履きました。これはガラスの靴ですか、という固さでした。食べ物おいしい時期ですが、おいしい話には騙されちゃいけないよ！（オチ）（ざ）
◆私事です、わが家のリフォームが完成しました！お風呂が新しくなってウキウキしていたのですが、なぜか娘（1歳）が怖がって泣き叫び入ってくれません…。みなさんは、怖いものをどうやって克服していますか??（う）
◆柿が大好きです。物心ついてからウン十年、毎年、秋になるとお腹を壊すまで柿を食べすぎてしまいます。石田三成は「柿は痰（たん）の毒」として死の直前でも食べなかったというのに…（る）